



# 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒  
(徳) 正しく判断できる生徒  
(体) 心身を鍛える生徒  
<No. 14> 令和5年3月1日 (水)

## さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)  
866-5789 (相談室)  
<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>



### 希望をもって未来へ

校長 長島 淑子

桜のつぼみも膨らみ、新しい春がすぐそこまで来ています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

本年度も残すところ約1ヶ月となりました。保護者・地域の皆様には、1年間大変お世話になりました。新型コロナウイルス感染症の影響で、年間を通して、緊張と苦悩を余儀なくされた1年間でしたが、保護者や地域の皆様のおかげで、生徒たちも何とか安全に過ごすことができ、成長をたくさん見ることができました。本当にありがとうございます。

コミュニティスクール開始の年に当たり、学校運営委員の皆様とともに、地域の目指す生徒像を考え、「育てよう！白中生のコミュニケーション力」を合言葉に動き出しました。まずはコミュニケーションの基本である挨拶に力を入れ、地域の中でのボランティアで力を発揮する中で、人との関わり方を学ばせていただきました。また、総合的な学習の時間には防災アドバイザーを始めとする地域の方々にご協力いただき、3学年ともフィールドワークを実施し、自分たちの町の危険箇所を実際に目で見て、防災マップ作りと発表会を行うことができました。

中学校生活の大切な3年間、色々なことが中止になり、何とかかわいそうな生徒達だろうと思っている方も多いと思います。しかしながら生徒の学びを止めてはいけなと一生懸命工夫し考えた代案や新しい試みを生徒たちはすべて前向きに、一生懸命楽しみながら行ってくれました。泣き言を言わず、与えられるだけでなく、自分たちでも安全に楽しめる方法やこの状況でもできることを考えて、常に前向きに笑顔で取り組み、逆境を力にしていきました。素晴らしい成長だと思います。まさにいつも言っていた「だったらどうする精神」全開の1年でした。

保護者の皆様に、改めてお願いします。

白幡中の生徒はいいところをたくさんもっています。だからこそ困ったときにすぐにあきらめたり、絶望してしまうのではなく、「だったらどうする！」と前向きに考えたり、自分から助けを求めたりすることのできる生徒に育てたいと、学校では様々な取り組みを行ってきました。さらに力を高めるために、小さい失敗は経験させましょう。失敗して、反省して、何かをつかんで立ちあがり、次に生かす経験をさせましょう。失敗をさせないようにすることが子どもを守ることはありません。失敗を乗り越えられる力を付けることこそが、子どもを守ることだということを忘れないでほしいと思います。そして、挫折から這い上がってきた時こそ、思い切り褒めてあげてください。

学校とは、基本的な学力を定着、向上させる場であると同時に、集団生活における人との関わりの中で、コミュニケーション能力を養う場でもあります。やがて社会に出ていく子どもたちに、集団の中で、社会の中で、どのように周囲と関わり、協力していけばよいかを学ばせる場でもあるのです。個別に学習するだけでは養えない力です。

今後は、GIGA スクールをはじめ ICT が大きな部分を占める新しい時代がやってきます。なおさらコミュニケーションがとりにくくなる中で、周りとうまくやっていくために、人との関わりの中から様々なことを学ばせましょう。勉強や成績という前にまず、しっかり睡眠と食事をとることを大切にしてください。さらに心にエネルギーを蓄えることが意欲ややる気につながります。「よく頑張ったね」「大変だったね」といつも見守ってくれる家族が一番の「心のエネルギー」となり得るのだということを忘れないでください。

令和5年度、この新しい年をドキドキしながら迎える生徒もいますが、来年こそは変わろうと意欲を燃やしている生徒もいます。残り1ヶ月をじっくりと親子で会話をしながら生徒の不安を和らげ、励ましながら目標をもたせることで、夢を膨らませて次の学年に送り出してあげてください。